

# 教育科学研究会 「道徳と教育」部会 研究会



日時 2021年2月7日(日)14時～17時  
方法 Zoomによるオンライン研究会  
(参加予定者にURLをお知らせします)

テーマ **道徳を「教える」とはどのようなことか？**

報告者 **神代健彦さん (京都教育大学)**

道徳とは、人類が長い歴史のなかで積み上げてきた知であり、子どもたちに分かち伝えられるべき文化遺産である。ただし歴史は、そんな知が、ややもすれば自由と民主主義の敵対者ともなりうることを教えている。必要性に居直るのではなく、危険性を看過するでもなく、次世代の自由と民主主義を促進するための道徳教育とはどのようなものか。今回の報告では、そんな道徳教育「原論」の端緒について、参加者と一緒に考えていきたい。

## 【報告者のプロフィール】

神代健彦(くましろ たけひこ)

京都教育大学教育学部准教授。専門は教育学・教育史、道徳教育論。

研究テーマは、戦後日本の教育学史、道徳教育論。

著書に、神代健彦・藤谷秀編『悩めるあなたの道徳教育読本』(共著、はるか書房、2019)ほか。

※参加費は無料です！

※準備の都合上、初めて参加される方は、以下の連絡先にご一報ください。

お問い合わせ・連絡先 櫻井 歓 sakurai.kan@nihon-u.ac.jp